

第1回 函館ジャズオーディオ試聴会

報告者：畔田(札幌ジャズオーディオ鑑賞会)

日時：2009年11月8日(日) 13:00より

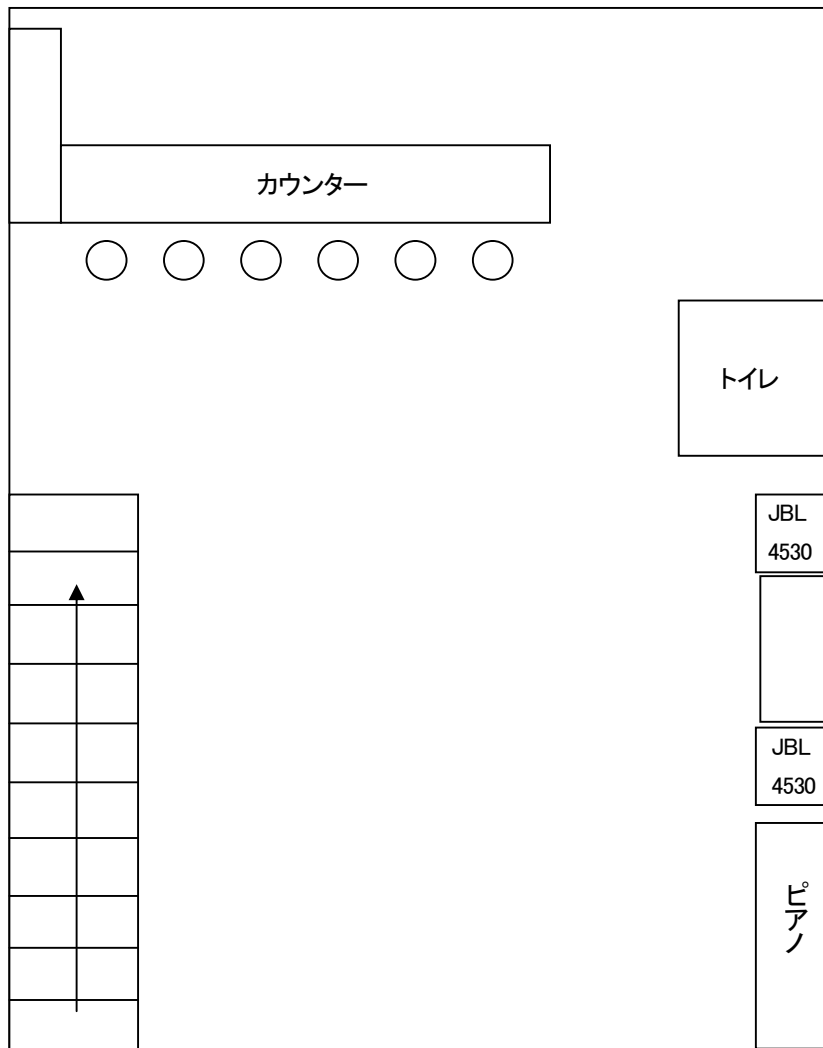
会場：函館市本町32-4 ジャズスポット Leaf

主催：函館ジャズスポット「Leaf」店主 水山氏、長万部ジャズバー「ミモザ」店主 高井氏

店の外観……函館市・五稜郭地区にある中央病院の側(電車・中央病院前下車すぐ)



会場の見取り図
(縮尺は正確ではありません。)
Leafは2階。



<展示内容>

店内カウンター側に置かれた自作オーディオ(2セット+1)



1. メインスピーカー(台上側)
30cm ウーファ+1 インチドライバーの 2way
(これにツイーターを追加)
パイオニアPW-31とクラシックプロのドライバー
ホーンとパイオニアのPT-9ツイーター
* 全てタイムアライメント調整済み
* コーン紙等にはラッカーコーティング
* センターキャップに穴加工
* 背面に穴加工

2. サブシステム(台下側)
20センチのWayシステム
ボーズのウーファとツイーター
* ウーファとツイーターともにコーティング済み
* センターキャップに穴加工
* 背面に穴加工

3. カウンター上にある小型システム
カラオケスピーカー(エレクトロボイス製)を
流用したもの。
PA 向きとして人気があった。



<CD プレーヤーの音質改善について>

1. 紙やすりによる音質改善

CD プレーヤーのカバーを外すと何やら紙やすりが基板の上に置かれていました。

この紙やすりがフラットケーブル上に発生する浮遊電流によるノイズの影響を軽減します。

紙やすりの型番は 30 号(A-P30)が最も効果的とのことでした。

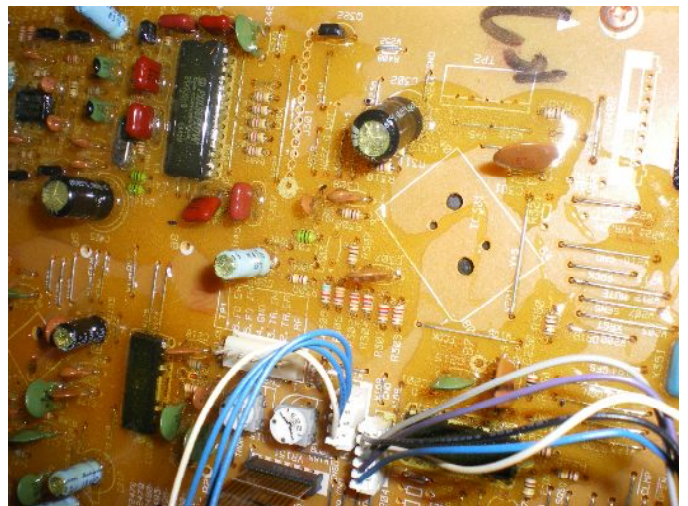


2. エポキシボンドを基板に塗布して音質改善



基板に電流が流れると、フレミングの左手の法則に従い部品に力が加わり微振動をおこします。

この微振動がノイズ源となり音質を劣化させます。それを防ぐために部品をエポキシボンドで固めることで微振動を抑え、ノイズを軽減させることができます。



市販のエポキシボンドで十分に効果が得られます。(ホームマックなどで入手可能。)ただしコネクタ類や可変抵抗や可動部分は、固定しないよう注意が必要です。



* 本改造は CD プレーヤー以外の基板でも音質改善に有効です。

<JBL4530 の音質改善について>

バックロードホーンのちょっと不快な低域の膨らみをどうコントロールするか

- 1) ホーンの開口面積の調整……少し広げる(低音の歪を逃がす)
- 2) グラスウールによる吸収対策(低音の過振動放射の抑制)
- 3) 背面の補強(低音の明瞭化、中高域の補償)

右写真: Leaf のスピーカー

下左:バックロード改造の
説明をする高井氏

下右:スピーカーカバーの
取り付け作業



<スピーカーの音質改善について>



1. スピーカーコーンのセンターに穴を開ける
→ 低音の歪がこの穴から抜ける(低音の明瞭感が増す)
→ 中高域の音の抜けも同時に改善される
2. スピーカーコーンにコーティング
→ 湿度による音質の変化が激減する。音質が安定する。
コーティングはラッカー。(柿浜もお勧め。)